

シナリオ（医師役）

- 医師氏名：（ ） 医師
- 専門科：（ ） 科
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ） 歳
- これまでの経緯：
（ ）
- 検査所見
（ ）
- 診断：（ ） がん IV期
- 今日の面談： 10日後の今日、外来で手術不能の難治がんの診断結果を伝える
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（患者役）

- 患者氏名 : ()
- 年齢 : (歳)
- 家族背景 :
()
- 職業 :
()
- 生活歴 :
()
- 趣味 : ()
- 受診までの経緯 :
()
- がんの可能性は伝えられているが、手術不能の進行がんということは予測していない
- 今後の生活について () を心配している。

シナリオ（看護師役）

- 看護師氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ） 歳
- 診断：（ ） がん IV期

- これまでの経緯：

がんと診断され、化学療法を受けたが効果がないため積極的抗がん治療を中止し、緩和医療主体の入院治療中。疼痛などの症状はおおむねコントロールされている。

追加情報（ ）

- 急変や緊急入院もなく比較的業務の少ない消灯後にナースコール。患者はつらそうに「抗がん剤の治療をやめますって担当医から言われたんですけど、私はもう治らないんでしょうか？もうダメなんんでしょうか？いつまで生きられるんでしょうか？」と語った
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（看護師役）

- 看護師氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期 多発骨転移

- これまでの経緯：

半年前から化学療法中。腰痛、下肢のしびれがあり入院。多発骨転移をみとめ、疼痛緩和目的で放射線治療を実施した。自宅は和式トイレで段差も多く、リフォームが必要。担当医の指示でリハビリを行っている。

追加情報（ ）

- リハビリから帰る途中「体も思うように動かないし、もうダメなのかな」と患者が切々と語った。廊下のそばにはベンチがある。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（看護師役）

- 看護師氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期

• これまでの経緯：

以前の化学療法で、吐き気、口内炎のため一時絶食の経験あり。病状の進行あり入院し、新しく化学療法開始されたが、吐き気、口内炎が出現。患者は食事へのこだわりが強く「普通のごはんじゃないといやだ」と言い張る。担当医から食事変更のオーダーが出た。

追加情報（ ）

- 低栄養の恐れがあるため、理解度の確認と、常食から流動食へ食事変更の必要性を伝える。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（歯科医師役）

- 歯科医師氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期
- これまでの経緯：

病状の進行のため化学療法を中止し緩和医療中心となっている。日常生活は自立。義歯があわなくなったためかかりつけの歯科医師の診察を受けた。

追加情報（ ）

- 診察中、患者から「食事もおいしく食べられないし生きている意味がない。病気が治ったりしないんでしょうか？」と語られた。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（歯科衛生士役）

- 歯科衛生士氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期
- これまでの経緯：

入院で初回の化学療法を開始。担当医から化学療法の効果、副作用など一通りの説明はされている。

追加情報（ ）

- 口腔ケアの依頼で病室に訪問。患者から「口の中も乾くし味もよくわからないし、心配です」と語られた。病状認識を確認し、口腔ケアの見通しを伝える。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（薬剤師役）

- 薬剤師氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期
- これまでの経緯：

初回の化学療法を外来化学療法室で開始。担当医から化学療法の効果、副作用など一通りの説明はされている。

追加情報（ ）

- 外来化学療法室のソファークラウドで点滴開始。患者は家族のこと、これからのことを考え不安になっている。患者から「このお薬の副作用ってどんなことがあるんでしょうか？」と不安げな表情で呼び止められた。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（薬剤師役）

- 薬剤師氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期
- これまでの経緯：

手術不能と診断され初回の化学療法を行うこととなった。担当医から化学療法の効果、副作用など一通りの説明はされている。

追加情報（ ）

- 化学療法の詳細を薬剤師から改めて行う。患者は治療内容以外にも様々な心配を抱えている。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（薬剤師役）

- 薬剤師氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期

- これまでの経緯：

初回の化学療法に反応したが、その後増悪したためセカンドラインの化学療法を行うこととなった。担当医から化学療法の効果、副作用など一通りの説明はされている。

追加情報（ ）

- 化学療法の詳細を薬剤師から改めて行う。患者は治療内容以外にも様々な心配を抱えている。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（臨床検査技師役）

- 臨床検査技師氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期
- これまでの経緯：

初回の化学療法に反応したが、その後増悪したためセカンドラインの化学療法を行うこととなった。担当医から化学療法の汎血球減少など副作用を含め一通りの説明はされている。臨床検査技師は患者の病歴について全く知らない。

追加情報（ ）

- 比較的患者の少ない中央採血室で患者からいきなり「今日の採血は腫瘍マーカーが下がるよう採血してくださいよ」と切羽詰まった表情で声をかけられた。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（臨床検査技師役）

- 臨床検査技師氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期
- これまでの経緯：

初回の化学療法に反応したが、その後増悪したためセカンドラインの化学療法を行っている。

追加情報（ ）

- 化学療法後の経過観察で超音波検査。比較的ゆったりした時間帯。検査中患者から「検査の結果どうですかね」と切羽詰まった表情で声をかけられた。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（放射線技師役）

- 放射線技師氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期
- これまでの経緯：

半年前から化学療法中。腰痛、下肢のしびれがあり入院。多発骨転移をみとめ、疼痛緩和目的で放射線治療を開始した。主治医から放射線治療の説明は副作用を含め一通り受けている。治療コースも半ばであり、治療には慣れてきている。

追加情報（ ）

- 体位をとっている際、「この治療の副作用ってどんなことがあるんでしょうか？」と声をかけられた。患者は家族のこと、これからのことを考え不安になっている。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（管理栄養士役）

- 管理栄養士氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期
- これまでの経緯：

以前の化学療法で、吐き気、口内炎のため一時絶食の経験あり。病状の進行あり入院し、新しく化学療法開始されたが、吐き気、口内炎が出現。患者は食事へのこだわりが強く「普通のごはんじゃないといやだ」と言い張る。

追加情報（ ）

- 低栄養の恐れがあるため、理解度の確認と、常食から流動食へ食事変更の必要性を伝える。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（相談支援者役）

- 相談支援担当者氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期
- これまでの経緯：

がんと診断され、化学療法を受けたが効果がないため積極的抗がん治療を中止し、緩和医療主体となっている。患者一人で相談支援部門に来た。

追加情報（ ）

- 病歴をひとしきり語った後で、つらそうに「私はもう治らないんでしょうか？もうダメなんんでしょうか？いつまで生きられるんでしょうか？」と語った
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（医療ソーシャルワーカー役）

- ソーシャルワーカー氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期 多発骨転移
- これまでの経緯：

半年前から化学療法。腰痛、下肢のしびれがあり入院。多発骨転移あり、疼痛緩和目的で放射線治療を完了した。症状改善したが骨折の危険高い。自宅は和式トイレで段差も多く、リフォームが必要。担当医はMSWに「急性期病院なので、転院の話を具体的に進めてください。本人に転院の説明はしておきました」と連絡。
追加情報（ ）

- 面接を行う。患者、家族は今後を心配しもう少し病院にいたいと思っている。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（理学療法士、作業療法士役）

- 理学療法士、作業療法士氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期 多発骨転移

- これまでの経緯：

半年前から化学療法。腰痛、下肢のしびれがあり入院。多発骨転移あり、疼痛緩和目的で放射線治療を完了した。症状改善したが骨折の危険高い。自宅は和式トイレで段差も多く、リフォームが必要。歩行器で自立歩行できるが見守り必要。リハビリを行っている。

追加情報（ ）

- リハビリ中「体が思うように動かない。骨に転移してるし、私もうダメなのかな・・・」と深刻な表情で訴えられた。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（理学療法士、作業療法士役）

- 理学療法士、作業療法士氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期 多発骨転移
- これまでの経緯：

両下肢のしびれ、不全麻痺のため化学療法と放射線治療中。患者は家に帰りたい、歩きたいと意欲がありリハビリを行っている。担当医から月単位の予後と説明されている。リハビリスタッフは実用的な歩行獲得は困難と評価している。

追加情報（ ）

- 平行棒を介助でやっと1往復後、疲れて息を切らしながら「前は行ったり来たりできた。いつになったら歩ける？」「田舎の家だから帰るときにはしっかり歩けないと」と聞かれた。病状認識や気がかりを確認しつつ見通しを説明する。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（理学療法士、作業療法士役）

- 理学療法士、作業療法士氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期 多発骨転移
- これまでの経緯：

右大腿骨病的骨折で入院。多発骨転移をみとめ、全身状態から積極的抗がん治療は行わず疼痛管理を行う。脊髄転移のため排尿・排便障害、両下肢麻痺となり、下肢のたるさも強く希死念慮が見られている。

追加情報（ ）

- 病室でリンパマッサージ中、絶望的な表情で「私みたいに足が動かなくて何もできないひといいますか？」と聞かれた。不安を受け止めつつ、身体能力の見通しを説明し、次の目標を設定しようと考えている。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える

シナリオ（ケアマネージャー役）

- ケアマネージャー氏名：（ ）
- 患者氏名：（ ）
- 年齢：（ ）歳
- 診断：（ ）がん IV期 多発骨転移
- これまでの経緯：

半年前から化学療法。腰痛、下肢のしびれがあり入院。多発骨転移あり、疼痛緩和目的で放射線治療を完了した。症状改善したが骨折の危険高い。自宅は和式トイレで段差も多く、リフォームが必要。介護保険が認められ在宅療養予定。

追加情報（ ）

- 退院前カンファレンスで顔合わせ時に、「うちでの生活は心配です。どうなるのかな？」と不安げな表情で訴えられた。在宅療養について患者の理解、心配を確認し、ケアプランを説明する。
- 試すスキル：
 - ☐ 座る位置 ☐ 目や顔を見る ☐ 相槌を打つ ☐ オープンクエスチョン
 - ☐ 気持ちを繰り返す ☐ 沈黙 ☐ 気持ち・気がかりを探る
 - ☐ 理解できることを伝える